

## CONCEPT

- 国家の枠組みを超えて、人と人が集い、語り、新しい関係が構築される場所
- 川や水のように形を変えながら、府域とつながり、京都に訪れたい場所

## 特徴

- コンセプトを踏まえた京都らしいデザイン
- 「文化・環境」「産業」「観光」「地域」の各分野をテーマにした企画が**一定期間ごとに**展開
- 未来の京都を担う若い世代が中心となり、府民や府内企業の活力や想像力を最大限発揮した企画を展開
- 来場者は**展示**の他、**実演**や**交流**イベントなどにより、京都の魅力や奥深さを体感
- 来場者が**府域のイベントと連携した企画**に触れ、本物の京都を訪問

## イメージ



OSAKA

ブースの名称

(仮称) **ICHI-ZA KYOTO**

テーマは「一座建立」。京都府内各地の取組や魅力を発信するだけでなく、未来を共創していくにふさわしく発表者と来場者が心を通い合わせて一体感を生む場を創出。

## 空間ディレクション

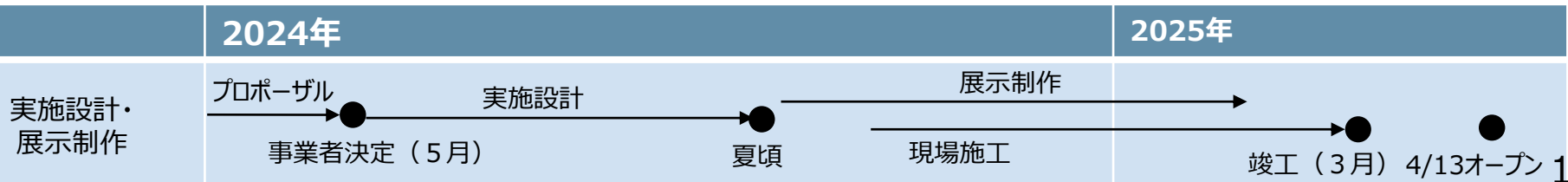
### Sandwich

国内外で精力的に活動する彫刻家・名和晃平氏が、制作の拠点として2009年に、京都・伏見にて創設したクリエイティブ・プラットフォーム。彫刻・インスタレーション・建築・インテリア・舞台美術・デザイン・ファッション・ダンスパフォーマンスと領域横断的に活動するための重要な拠点であり、そこでは日夜、アーティストやデザイナー、建築家、ダンサーといったさまざまなクリエイターが集い、活発なコラボレーションを繰り返している。



## 今後のスケジュール

**ブースの基本設計が3月で完了。今年度、実施設計・展示制作を行う予定。**



# 関西パビリオンの出展イメージ等

## 出展イメージ

### ①京都ブース「展示」(4/13～10/13)

「他のパビリオンで見ることのできない」、「京都から各分野の未来の姿や形を提示している」など、世界基準で価値あるものを展示

### ②京都ブース「体験・交流・実演」(4/13～10/13)

新たなつながりや価値を生み出すトークショー、ワークショップ、各地域のイベント会場との交流などを土日祝日に実施

### ③多目的エリア(4/28～5/4、9/30～10/6)

多人数が出演・参加する体験・交流・実演や、地域の物産や食品などを扱う物産展・食フェスなどを実施

## 出展分野

以下の分野ごとにテーマを設定し、都度入れ替えを行い、そのテーマに沿った企画を展開

- 文化・環境（生活文化、現代美術、伝統芸能、漫画・アニメ・ゲーム・コンテンツ、SDGsなど）
- 食（京料理・和食、日本酒・発酵文化、ご当地グルメ・郷土食など）
- 産業（けいはんな万博の4テーマ（ロボット・アバター・ICT、ウェルビーイング、スタートアップ、サイエンス&アート）、伝統産業など）
- 観光（お茶の京都、森の京都、海の京都、もうひとつの京都・とっておきの京都など）
- いのち（長寿・子育て日本一、ダイバーシティ・インクルージョン、ヘルスケア・ソリューションなど）

## 今後のスケジュール

現在、出展コンテンツの選定中。今後、出展コンテンツの磨き上げ、出展企画、運営計画・運営スタッフの募集・研修等を実施

	2024年	2025年
展示運営	● 運営事業者決定（5月） ● 運営計画・運営スタッフの募集・研修の実施等	● 4/13オープン ● 運営
出展募集・展示企画	● 出展コンテンツの選定	● 出展コンテンツの磨き上げ、出展企画等

# (参考) 関西パビリオンの概要

※関西広域連合資料より抜粋

## 関西パビリオン イメージ図



## 多目的エリア イメージ図



## 建物内レイアウト

